



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日  
東

上場会社名 スーパーバッグ株式会社

上場取引所

コード番号 3945

URL <https://www.superbag.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樋口 肇

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 鈴木 崇之

TEL 04-2938-1244

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	21,795	2.2	675	△16.6	731	△16.3	530	△21.7
2025年3月期第3四半期	21,318	3.3	809	△10.5	874	△8.6	677	△18.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 589百万円(△23.9%) 2025年3月期第3四半期 774百万円(△18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	357.58	—
2025年3月期第3四半期	457.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	16,268	5,169	31.7
2025年3月期	14,600	4,730	32.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,156百万円 2025年3月期 4,718百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	105.00	105.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,200	2.3	780	△13.5	840	△17.8	610	△37.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	1,686,154株	2025年3月期	1,686,154株
2026年3月期3Q	200,914株	2025年3月期	202,997株
2026年3月期3Q	1,484,422株	2025年3月期3Q	1,482,232株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、継続的な物価上昇による消費者マインドの下振れ懸念に加え、為替相場の動向、米国通商政策による国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、国内の雇用・所得環境の改善を背景に、来店型店舗における包装資材需要は高まっており、紙製品事業は好調に推移いたしました。また、EC市場拡大と環境意識の定着から、紙製宅配資材の販売も堅調に推移いたしましたが、原材料価格の高止まり、物流コストの高騰といった厳しい事業環境が続いています。

このような環境のもと、当社グループは2024年5月10日に第2次中期経営計画『環境と共に歩む次世代パッケージ企業～創業120年の誇りを胸に～』を公表いたしました。『成長戦略の追求と環境経営基盤の構築』を基本方針とし、「紙製品事業への注力」、「新規事業開拓」、「環境偏差値向上」、「人的資本・ガバナンス強化」、「経営基盤戦略」に注力し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、宅配袋・紙器を中心とした成長牽引製品の拡販強化、生産リソースの再配置によるグループ全体の経営資源の最適化及び人事制度改革による人的資本の強化に取り組むとともに、政策保有株式を縮減することで資本効率化を推進してまいりましたが、インフレ進行に伴うコスト上昇に対する販売価格見直し等の収益拡大施策の遅れが利益を押し下げる形となりました。今後は、販売価格への適正な価格転嫁を進めていくとともに、積極的な設備投資を実行していくことで、収益性拡大と生産能力増強を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,795百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益675百万円（前年同期比16.6%減）、経常利益731百万円（前年同期比16.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益530百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、「セグメント情報等の注記」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用552百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、重点ターゲット市場への拡販により主力の宅配袋、紙器の販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ45百万円増加して11,802百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、紙製品事業へのリソース集中・生産体制の効率化施策を推進するも、原材料費や人件費等のコストが増加したことに加えて、生産設備の整備費用の計上及びメンテナンス実施による工場利益率低下の影響から、前年同期に比べ127百万円減少して902百万円となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、飲食店をはじめとするテイクアウト用ポリ袋のニーズを取り込んだものの、包装資材の有料化等の影響により、売上高は前年同期に比べ16百万円減少して4,410百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、海外調達先の多様化により、前年同期に比べ34百万円増加して151百万円となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ448百万円増加して5,582百万円となりました。品目ごとの販売構成では、包装用品、清掃用品のほか、事務用品の販売が増加しております。セグメント利益（営業利益）は、取引先の店舗数増加に伴いベンダーアイテムの取扱いが増加したことから、前年同期に比べ3百万円増加して173百万円となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,667百万円増加して16,268百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が525百万円減少した一方、売掛金が1,608百万円増加、棚卸資産が367百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,364百万円増加の11,537百万円となりました。固定資産は、減価償却で208百万円減少、繰延税金資産が51百万円減少した一方、設備等への投資により490百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が71百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ303百万円増加の4,730百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,228百万円増加して11,099百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金が194百万円減少、未払法人税等が143百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が847百万円増加、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が674百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ439百万円増加して5,169百万円となりました。これは、剰余金の配当で155百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により530百万円増加、その他有価証券評価差額金が44百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.3%から31.7%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績を勘案し、2025年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,834	2,309
受取手形	89	32
売掛金	3,737	5,345
電子記録債権	756	697
商品及び製品	2,133	2,460
仕掛品	241	280
原材料及び貯蔵品	283	283
その他	115	152
貸倒引当金	△19	△25
流動資産合計	10,173	11,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,978	4,013
減価償却累計額	△3,354	△3,385
建物及び構築物（純額）	624	627
機械装置及び運搬具	7,152	6,944
減価償却累計額	△6,481	△6,197
機械装置及び運搬具（純額）	671	746
土地	644	644
リース資産	557	586
減価償却累計額	△418	△449
リース資産（純額）	139	137
建設仮勘定	24	146
その他	386	375
減価償却累計額	△365	△351
その他（純額）	20	23
有形固定資産合計	2,123	2,326
無形固定資産		
ソフトウェア	59	57
その他	40	120
無形固定資産合計	99	177
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483	1,384
差入保証金	106	264
退職給付に係る資産	385	381
繰延税金資産	226	175
その他	3	21
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	2,204	2,226
固定資産合計	4,427	4,730
資産合計	14,600	16,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,334	3,181
電子記録債務	2,569	3,142
短期借入金	1,147	1,057
リース債務	177	73
未払金	434	563
未払法人税等	215	72
未払消費税等	85	16
契約負債	11	0
賞与引当金	214	124
設備関係電子記録債務	10	112
設備関係未払金	23	25
その他	132	228
流動負債合計	7,356	8,596
固定負債		
長期借入金	1,726	1,621
リース債務	83	167
役員退職慰労引当金	45	39
退職給付に係る負債	657	673
固定負債合計	2,513	2,502
負債合計	9,870	11,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,242	1,244
利益剰余金	1,984	2,359
自己株式	△373	△369
株主資本合計	4,228	4,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	340	385
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	178	188
退職給付に係る調整累計額	△28	△26
その他の包括利益累計額合計	489	548
非支配株主持分	11	12
純資産合計	4,730	5,169
負債純資産合計	14,600	16,268

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	21,318	21,795
売上原価	17,058	17,528
売上総利益	4,259	4,266
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,733	1,791
給料及び手当	1,045	1,099
賞与引当金繰入額	62	67
退職給付費用	27	39
賃借料	104	101
旅費及び交通費	60	54
その他の経費	416	436
販売費及び一般管理費合計	3,449	3,591
営業利益	809	675
営業外収益		
受取配当金	45	38
持分法による投資利益	61	43
受取賃貸料	22	5
その他	25	22
営業外収益合計	154	111
営業外費用		
支払利息	52	45
為替差損	7	5
その他	28	3
営業外費用合計	89	54
経常利益	874	731
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	58	56
特別利益合計	58	56
特別損失		
固定資産除却損	1	11
投資有価証券売却損	0	—
子会社清算損	—	19
特別損失合計	2	31
税金等調整前四半期純利益	931	757
法人税、住民税及び事業税	168	206
法人税等調整額	86	20
法人税等合計	254	227
四半期純利益	676	530
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	677	530



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	676	530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	44
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	12	15
退職給付に係る調整額	△13	1
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△4
その他の包括利益合計	98	59
四半期包括利益	774	589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775	588
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	9,732	—	—	9,732	—	9,732
紙器	1,290	—	—	1,290	—	1,290
その他紙製品	733	—	—	733	—	733
ポリ袋	—	3,746	—	3,746	—	3,746
その他化成品	—	680	—	680	—	680
その他商品	—	—	5,133	5,133	—	5,133
顧客との契約から生じる 収益	11,757	4,427	5,133	21,318	—	21,318
外部顧客への売上高	11,757	4,427	5,133	21,318	—	21,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,757	4,427	5,133	21,318	—	21,318
セグメント利益	1,030	117	170	1,317	△507	809

(注) 1. セグメント利益の調整額△507百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	9,588	—	—	9,588	—	9,588
紙器	1,468	—	—	1,468	—	1,468
その他紙製品	746	—	—	746	—	746
ポリ袋	—	3,780	—	3,780	—	3,780
その他化成品	—	630	—	630	—	630
その他商品	—	—	5,582	5,582	—	5,582
顧客との契約から生じる 収益	11,802	4,410	5,582	21,795	—	21,795
外部顧客への売上高	11,802	4,410	5,582	21,795	—	21,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,802	4,410	5,582	21,795	—	21,795
セグメント利益	902	151	173	1,227	△552	675

(注) 1. セグメント利益の調整額△552百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	197百万円	208百万円